

<大会要項>

1. 大会名称

2026 年度 東京都学生同好会 **秋季** アイスホッケー選手権大会

2. 主催

公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟

3. 期間

2026 年 9 月 25 日(金)～12 月 日 ()

4. 主会場

ダイードリンコアイスアリーナ

5. 大会事務局

公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟

〒202-0021 西東京市東伏見 3-1-25 (ダイードリンコアイスアリーナ内)

Tel.042(467)8282 Fax.042(468)2131 Mail : tihf@tihf.gr.jp

6. 参加チーム (5 チーム)

慶應ホワイトベア、早稲田タイタンズ、早稲田ポラーベアーズ、明治オウルズ、法政チーフス

7. 大会運営委員

松永 晃 (連盟理事・学生同好会委員長) 林 賢一郎 (連盟理事・学生同好会副委員長)

佐藤 仁美 (連盟委員・学生同好会副委員長)

片田 悠己 (学生委員長・KW) 永井 拓都 (学生副委員長・HC)

中村 圭吾 (総務・WP) 岡田 誠司 (会計・WT)

8. 納入金総額 < **¥264,000** > (大会参加費、試合運営費の合計)

大会参加費 : **¥30,000**

試合運営費 : 1 チーム当り (予選 R : 3 試合、決勝 T : 2 試合) 計 5 試合

【予選リーグ】・・・ **¥156,000** (¥39,000×4 試合) 全 10 試合(5 チーム 1 回戦総当たり)

【決勝 T】・・・ **¥78,000** (¥39,000×2 試合) 全 4 試合(準決勝、3 決、決勝)

※諸事情により当番 LP ができず、レフェリー委員会に依頼する場合は¥4000/試合を加算する。

■参加費・予選リーグ費用(**¥186,000**)を **10 月 2 日 (金)** までに大会口座に入金すること。

■決勝 T 費用(**¥78,000**)を **12 月 4 日 (金)** までに大会口座に入金すること。

■入金後に**会計担当委員に連絡**をすること。(会計委員は、全チームからの連絡後に松永まで連絡する。)

9. 選手登録(連盟登録、大会登録、試合出場登録)・・・ **監督、コーチ、MG も含む**

①日ア連選手登録(web 登録)

本大会に出場する選手の日ア連(FaceOff システム)への追加登録は **9 月 18 日 (金) を締切**とし、同一年度(4/1~3/31)の移籍は認めない。追加登録は <https://www.jihf.or.jp/faceoffadmin/>からチーム ID とパスワードを入力してログインし手続きすること。(登録費の振込も、上記の期限までに完了させること)

※FaceOff 登録画面のスクリーンショット等を **PDF 形式で提出** **9 月 18 日(金)締切**

②大会登録(大会申込)

① の日ア連登録者より「大会参加申込書(大会登録者一覧表)」を作成し提出する。

9 月 18 日 (金) 締切 ※締切日を過ぎての登録は一切認めない。

③試合出場登録(オールメンバー表)

各試合に出場する選手・役員を②の大会登録者より選出し(最大で GK2 名、プレイヤー20 名の計 22 名、監督・コーチ 6 名)、**試合開始 30 分前までにオールメンバー表を 3 部提出**する。

＜大学の規定＞

登録選手の在学する大学は、関東大学リーグに準じ、関東地方および山梨県とする。

＜学生証＞・・・MG含む

大会登録者の学生証について、「既定の PowerPoint ファイル」にて提出する。(提出のない者は出場不可)

提出期限 9月18日(金)

提示を求められた際にすぐに対応できるよう、全登録者は顔写真入り学生証を携帯しなければならない。

＜登録年限＞

選手登録は、各人5年間（5年生）までとする。ただし医学生および大学院進学者については、初年度から6年間（6年生・M2）まで認める。

＜体育会に所属していた選手についての規定＞（Divの基準時期は在籍時）

- ①過去に体育会(Div1)に所属していたものについては、連盟からの登録抹消から1年後に登録と公式戦への出場を認める。
- ②過去に体育会(Div2以下)に所属していたものについては、連盟からの登録抹消から5ヶ月後に登録を認め、6ヶ月後から公式戦への出場を認める。

10. 傷害保険

参加チームは傷害保険へ加入しなければならない。

本大会中における負傷について、本連盟は一切責任を負わない。

証書（名簿）を PDF ファイルで提出。 **提出期限 9月18日(金)**

11. 表彰

優勝チームには優勝杯および賞状を、2・3位チームには賞状を授与する。

12. 試合映像撮影・配信

本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。

本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を（公財）東京都アイスホッケー連盟に委ねることを本大会参加をもって承諾したこととする。

＜AI カメラ（（公財）日本アイスホッケー連盟）による動画配信について＞

本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利（公衆送信権）は、（公財）日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を（公財）東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

13. 大会口座名

＜大会参加費・試合運営費振込先＞

銀行名 : 東京三協信用金庫 東伏見支店
口座名 : (財) 東京都アイスホッケー連盟
口座番号 : 0103069
預金種目 : 普通預金

＜選手登録費振込先＞

銀行名 : 東京三協信用金庫 東伏見支店
口座名 : (財) 東京都アイスホッケー連盟 登録加盟
口座番号 : 0129346
預金種目 : 普通預金

*振込みの際は、振込人を必ず「**チーム名**」とすること。

<競 技 要 項>

1. 試合方法・試合時間及び順位決定

☆試合方法(リンク使用時間：1 時間 30 分)

全 5 チームによる予選リーグ(1 回戦総当たり)と決勝トーナメントを行う。

- ・全試合パックスによりホームチームを決定する。(この時点で PSS の先攻も決める。)

☆試合時間

全試合正規時間(ストップタイム) 15 分×3 ピリオド、休憩 3 分、練習 5 分

タイムアウトあり

- ・ただし、貸切終了 2 分前になった時点で打ち切りとする。
※江戸川リンクは、5 分前にて打ち切りとする。
- ・また、試合の残り時間にかかわらず、得点差が 7 点以上開いた場合、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとし、点差が縮まっても続行する。
- ・以上の条件により、ランニングタイムで試合が進行している場合でも、以下の場合はストップタイムとする。
 - ①ペナルティ発生時から最初のフェイスオフまで
 - ②得点時間の確認(確認後すぐに時計は進める)
 - ③タイムアウト(アナウンスと同時に止め、終了ブザーと同時にスタートする)
- ・第 3 P 終了時に同点の場合、サドンデス方式による両チーム 1 名ずつの PSS で勝敗を決定する。
※下記規定時間内に決着がつかない場合、予選リーグでは引き分けとする。
(PSS 規定時間・・・ダイドー/東大和は貸切終了時間まで、江戸川は貸切終了時間まで。)
→ただし、決勝トーナメントでは、予選リーグ上位チームの勝ちとする。

☆試合開始/終了時の整列

全員ヘルメットを着用する。(キャプテン含む)

ブルーライン上で挨拶を行う。

- ・キャプテンは、本部席前の審判に挨拶に行く。

☆ 順位決定 (予選リーグ)

レギュレーションタイム勝ちを 3 点、PSS 勝ちを 2 点、PSS 負け・引き分けを 1 点とし、勝ち点の多いチームを上位とする。

勝ち点と同じ時は、

- (1) レギュレーションタイム勝利数の多いチーム
 - (2) 当該チームの対戦成績
 - (3) 当該チーム同士(3 チーム以上)の試合で得失点差の大なるもの
 - (4) 当該チーム同士(3 チーム以上)の試合で総得点の大なるもの
 - (5) 全試合の得失点差の大なるもの
 - (6) 全試合の総得点の大なるもの
 - (7) 直近大会で順位が上位であるもの
- 以上 1) ～7) の条件順で順位を決定する。

2. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則による。

3. 補助規則 (ローカルルール)

- 1) 試合を棄権するチームは試合時間の 24 時間前までにその理由を連盟まで文書にて届けること。(その場合、0 対 15 の不戦敗となる。)
- 2) 未登録者が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし 0 対 15 の不戦敗とする。
- 3) プレイヤーはマウスガード、フルフェイスマスク、イヤークラップ、ネックガード(GK 含む)を着用しなければならない。(フルフェイスマスクの付帯パーツは正しく装着すること)
- 4) 危険な防具を着用している選手は試合に出場できない。試合前にレフェリーが確認する。試合中、正しく防具を着用していない選手に対し、マイナーペナルティを科す。(マウスガードの違反も同様とする。)(タ イダウストラップ未装着は出場できない。ユニフォームが正しく着用されていない場合、1 回目は当該チームへ警告。2 回目以降はマイナーペナルティを科す。)
- 5) 試合の際に役員登録されている役員(監督・コーチ)がベンチ入りしない場合、責任者としてチームキャプテンが責任を負うものとする。
- 6) ベンチには最大 28 名(GK2 名、プレイヤー20 名の選手 22 名、役員 6 名)まで入れる。

- 7) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。当該選手が得点をあげても無効となる。
また、当該選手がペナルティを犯した場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし当該選手は直ちに退場となる。
- 8) 試合の実施は、**試合開始までに GK を除き 6 名以上、第 2P 開始までに GK を含めて 6 名以上**とし、それ以下の選手数のチームは試合を放棄したものとみなし、0 対 15 の不戦敗となる。
- 9) 試合中におけるタイムアウトは、各チーム 1 回使用できるものとする。
- 10) ユニフォーム及びストッキングはチーム全員が揃えるものとする。
背ネームは、原則 姓のみ可、ファーストネームやニックネーム等は不可。
背ネームを隠す場合、同色系の布を縫い付け、試合中にはがれないようにすること。
***特例：新入部員でどうしてもユニフォームが揃わない者は、ユニフォームと同系色のジャージの着用を認める。その場合の背番号は、テープ等で表示する。(春季大会のみ)**
- 11) 学生証の提示を求められた場合はいつでも確認を受けられるように、試合関係者は全員が学生証を用意しておかなければならない。
- 12) 審判は、レフェリー委員会に依頼し、**予選時のラインズパーソンは当番チームより 1 名担当する。**
※不測の事態でレフェリーが不在の場合は、LP2 名(2 審制)で試合を行う。
決勝 T はレフェリー・ラインズパーソンともレフェリー委員会に依頼する。
- 13) 審判(ラインズパーソン)は当番チームを代表するものであるから、その責任を負うことのできる**アイスホッケー歴 3 年以上かつ 3 年生以上の者**が行わなければならない。クリニックを受講しなければならない。
- 14) 当番チームは**ラインズパーソン 1 名、ゴールジャッジ 2 名、ペナルティボックス 2 名、本部 4 名 (計時 1、掲示板 1、ゲームシート 1、アナウンス 1) 計 9 名**が**試合開始 30 分前**に集合しオフィシャル業務を務める。**オフィシャル業務中は「飲食禁止」。**

役割	持ち物
タイムキーパー 1 名	
電光掲示板 1 名	
ゲームシート 1 名	
アナウンス 1 名	
ゴールジャッジ 2 名 (ショット数兼務)	
ペナルティボックス 2 名	スケート靴
ラインズパーソン 1 名	スケート靴 ・ ヘルメット ・ レガース ネックガード ・ 笛
※当番スタッフのうち 1 名はチームの役職者 (GSV を担当) を含める。	

- 15) 当番の交代：当番の交代はトラブルの原因になりやすいので極力避けること。やむをえず交代する場合は、試合開始 24 時間前までに**メーリングリストにて連絡**すること。
- 16) 当番チームの役職者：当番スタッフのうち**必ず 1 名はチームの役職者(GSV を担当)を含めなくてはならない。**
- 17) 当番ならびに試合、会議等への遅刻、欠席、棄権及び連盟規約に違反した場合、運営協力金負担から無期試合停止までの処分を科す。**不戦敗(棄権・放棄等)の場合は、相手チームの試合運営費を負担する。当番の遅刻(15 分前から対象)は、¥1,000/人、欠員は¥2,000/人を徴収し、代替者への謝礼とする。**
- 18) 対戦表の左側のチームを仮ホームチームとし、本部席より左側のベンチを使用する。
- 19) ピリオド間の休憩の後、最初にプレーする 6 名以外は速やかにベンチに入ること。
- 20) **ゴール裏 (GJ 周辺) での撮影等は禁止する。(観戦は指定場所で行う。MG 含む。)**
- 21) ダイドー・東大和で行われる試合において、**ベンチ入りするスタッフ(ドアマン、控え GK 含む)が学生の場合、フルフェイスマスクを着用**しなければならない。
- 22) リンク内でのツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口にした水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
- 23) 連盟より処分を科せられているチーム・選手の確認を行い、適切に対処する。

4. 試合結果報告

- 各試合について、**対戦チーム(2 チーム)**と**オフィシャルチーム**の 3 チームは、それぞれ個別に都連スコア報告サイトに連絡をすること。
- オフィシャルチーム**は、記録担当にゲームシートの画像を送信すること。